

令和 8 年度「工賃向上セミナー I」が開催されました

7月29日(水) エア・ウォーターアリーナ松本

令和 8 年 7 月 29 日（水）、エア・ウォーターアリーナ松本大会議室において、61 人が参加して、「工賃向上セミナー I」が開催されました。はじめに、綿貫理事長挨拶のあと、長野県健康福祉部障がい者支援課の渡邊希係長から、『R 6 年度の長野県の平均工賃月額、24,522 円となり、長野県障がい者工賃向上計画 2024(R6-R8 年度)で掲げた R 6 年度の目標平均工賃月額 24,000 円を上回る実績を上げることができた。R 8 年度の目標平均工賃月額 26,000 円を目指して、県の優先調達や農福連携事業等を大いに活用して欲しい。』との話がありました。

そのあと、E リソースセンター(株)経営コンサルタント、組織開発ファシリテーターである井口裕子氏を講師としてお迎えし、アイスブレイキングタイムを挟みながら、以下のとおり、ご講演をいただきました。

「魅力ある販売会に向けて」

お客様とつながり・ファンを育てる!販売力アップの秘訣

講演の前半では、マーケティングの基礎からわかりやすく説明していただきました。まずは、お客様に喜ばれるお店を作ろう、お客様に喜んでもらうためには、自分たちの価値を知ってもらう、伝えることが大切であり、売り上げはお客様に価値が伝わった、喜ばれた結果であるとの話がありました。続いて、売り場づくりや POP、接客について具体的に教えていただき、コミュニケーションによりお客様とのつながり(ファン)を育てていくことにより、さらに販売力を高めることができるとのことでした。

後半では、グループワークということで、お客様に商品の魅力を伝えやすい POP の書き方の講義があり、参加者各自が実際に POP を制作し、グループ内で発表し合うなど、楽しく学ぶことができ、あっという間に時間が過ぎていきました。

最後に、講師先生から、売ることよりもつながることが大切であり、お客様ともしっかりつながるには、販売会で出会う、知ってもらうことも大事だが、今の時代に合ったやり方として SNS 発信が重要なツールになってきており、可能なら週 1 回の投稿を続けることを勧められました。



スポットライト

会員事業所紹介コーナー

下伊那ブロック

(社福) 長野県知的障害者育成会
Lサポート

飯田市東栄町 3108-1

Tel : 0265-53-2294

Lサポートの名称は、
Life(生活)・Live(生きる)・Labor(労働)を支援
(サポート)することを意味
しています。



Lサポートは、飯田市の共同作業所としてはじまり、現在は国の制度のもと障害福祉サービス事業所として「さんとぴあ飯田」内にある「東栄町事業所」と、龍江の「きらら事業所」で、生活介護と就労継続支援B型の事業を行っています。

利用者さん一人ひとりの障害に合わせ、健康状態に配慮しながら、持てる能力を十分に発揮できるよう、生活介護事業では、余暇と作業のバランスを取りながら、能力や障がい特性にあわせた活動を、また、就労継続支援B型事業では、水引製品などの受託作業を中心に、働く喜びを感じ、働く力を高める活動をしています。

利用する皆さんが、Lサポートに来所して一日を過ごした後、「ここへ来てよかった」「また次に来るのが楽しみだ」という気持ちが高まるような生活を提供しよう心がけ、心から喜んでくれる施設、生きる意欲がわいてくるよう、一人ひとりがそれぞれ持っている力を伸ばし「その人らしさ」を精一杯生かし、生きがいを見つけ、互いに支え合える施設を目指しています。

(窪田)



7月28日発生した熊本地震への支援

熊本地震に対して、長野県セルフセンター協議会として寄付金10万円を、関東セルフセンター協議会を通して、熊本県セルフセンター協議会へお見舞金としてお渡ししました。

長野市中御所字岡田 98-1

長野保健福祉事務所庁舎 1 階

NPO 法人

長野県セルフセンター協議会

Mail nselp@ebony.plala.or.jp

TEL 026-291-8280 Fax 026-291-8290

編集後記

工賃向上計画セミナーⅠに参加するため松本市へ。日本列島各地で連日、猛暑・酷暑が記録されるなか、会場も講師先生と参加した皆さんのやる気と熱気で暑かったです。

また、セミナーの前日7月28日熊本地震が発生しました。被災者の状況に心を寄せながら、事業所のBCPがいざというときに活かされるよう、より実効的に見直さなければと思いました。【横山】